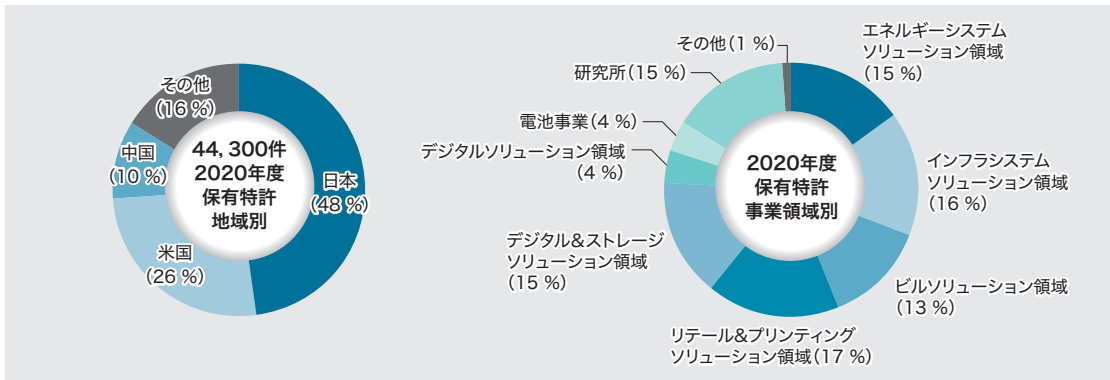


東芝グループは、独自の技術・製品を支える知的財産、及びその戦略構想の強化に取り組み、知的財産の積極的な活用を通じて、社会課題解決の機会を拡大し、企業価値の最大化につなげています。

知的財産戦略は全ての知的財産活動の根幹であり、事業の上流段階から構想していくことが重要と考え、各事業領域に応じたポートフォリオを構築しています。エネルギー領域やインフラ領域でのデジタル化に関する事業においては、事業スキームを俯瞰(ふかん)した知的財産戦略及びパートナー戦略を構想し、その実行に最適な知的財産を確保・整備しています。また、デバイス事業においては、事業展開に応じて最適な知財ポートフォリオの構築・強化に注力しています。



2020年度のグローバル保有特許のポートフォリオ

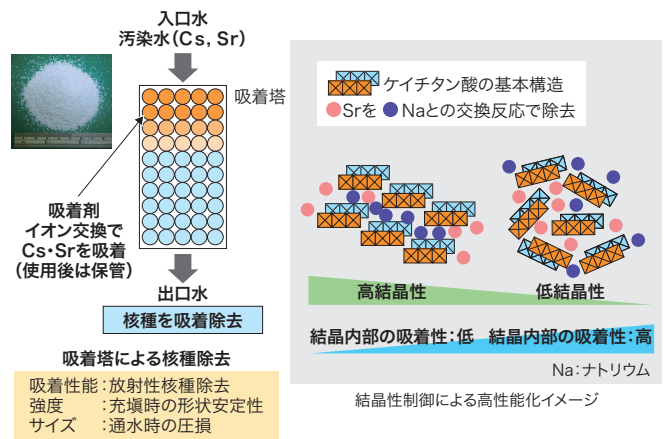
発明表彰

令和3年度全国発明表彰【発明賞】

原子力発電所から排出される汚染水の処理技術の発明（特許第6158014号）

この発明は、福島第一原子力発電所から排出される汚染水中の放射性核種を除去するために開発した吸着剤に関するものである。結晶性制御による吸着性能向上と造粒制御による実用強度を両立させることにより、福島第一原子力発電所の汚染水中に含まれる放射性セシウム (Cs) と放射性ストロンチウム (Sr) の同時かつ高い吸着性能での除去を実現した。

この吸着剤は吸着性能が高く、従来品を使用した場合より少ない吸着塔数での処理が可能である。吸着性能が高いため放射性廃棄物発生量が少なくなり、環境負荷低減にも貢献する。



Clarivate Top100 グローバル・イノベーター 2021 及び Top100 ベスト・プロテクティッド・グローバル・ブランド 2021 に選出



英国情報サービス会社クラリベイトが、特許データ分析により世界の革新的な企業・機関のトップ100を選出する「Clarivate Top100 グローバル・イノベーター」に、10年連続で選出された。また、同社が新しく発表した「Top100 ベスト・プロテクティッド・グローバルブランド (商標・判例・ドメイン保護などの分析から世界で最も保護されている強いブランドを選出するアワード)」においても、「TOSHIBA」が選出された。